



2018年 5月210号

ふるさと

グループホームあじさい園

「一隅を照らす」という言葉は、平安時代に比叡山延暦寺を開き、日本天台宗の宗祖である伝教大師最澄（767〜822）が著した山家学生式（さんげがくしょうしき）の冒頭にあります。

《山家学生式》

国宝とは何物ぞ、宝とは道心なり。道心ある人を名づけて国宝となす。故に古人の言わく、怪寸（けいすん）十枚是れ国宝に非ず、一隅を照らす、此れ則ち国宝なり。

〈怪寸〉・・・金銀財宝

〈一隅〉・・・今あなたがいる場所

「一隅を照らす」の意味するところは、国の宝とはお金や財産ではなく家庭や職場など、自分のおかれた場所で精一杯努力し明るく光輝くことのできる人である。一人ひとりがそれぞれの持ち場で全力を尽くすことによって、社会全体が明るく照らされていく。自分のためばかりではなく人の幸せ、人類みんなの幸せを求めていこう。

人の心の痛みがわかる人、人のよろこびがすなおによるこべる人、人に対して優しく思いやりがもてる心豊かな人こそ国の宝であるということです。

人は誰でも何らかの使命を果たすために生まれてきたともいえます。人を恨んだり自分を卑下したりするのではなく、自分を信じて自分の場所ですべきことに専心すれば、その努力は必ず実を結びましょう。

そしてあなたが努力する姿を家族や友人、周囲の人々は見ています。あなたが光ればあなたのそばの人も光ります。町や社会が光ります。それらの小さな光が集まってやがて社会全体が光り輝きます。

最近もっとも感動したコラムです。そのままを引用させていただきました。



伝教大師最澄

創立記念日4月3日

創立二十二周年記念式典をご利用者様と共に迎えさせていただきました。お昼には園で調理したお赤飯・豪華な折詰（お刺身・天ぷら・焼き物など）を職員共に美味しく頂きました。



5月の行事予定

5日（土）子供の日

13日（日）母の日

23日（水）お誕生日会

※塩田医師の定期往診もあります。

いつもご協力ありがとうございます。

あじさい園のホームページもご覧ください。



お花見🌸&お弁当🍱4月6日

雨の為お昼は、予定を変更して園で「おにぎり弁当」頂いてからお出かけしました。布目ダム・神野山・大保町などを通り桜にも間に合って花見ドライブに行ってきた。道中、「今、〇〇さんの家を通ったよ」「あれは〇〇さんの家や」などワイワイと車中でのお喋りに花が咲き楽しい時間を過ごしました。

「どら焼き」おやつパーティー4月13日

利用者さんに生地を焼いてもらったり餡子を挟んでいただきました。抹茶味と桜味2種類の「どら焼き」が沢山出来上がり、中には待ちきれなくて先に食べてもらった方も多く二人前位は食べておられました。

